

教育

学力の定着と学校生活への適応を目指して 全中学校区で小中一貫教育を導入

市では、義務教育9年間を1つの連続した期間と捉えて、子ども達の発達段階に応じた一貫性のある学習指導・生徒指導を小学校と中学校が協力して行うことで、学力の定着と学校生活への適応を目的とする。

指す「小中一貫教育」に取り組んでいます。

平成28年度に城北・加佐中学校区で、平成29年度に青葉・和田中学校区でそれぞれ先行導入しています。そして、今年4月からは白糸・



城南・若浦中学校区にも導入。市内の全中学校区で小中一貫教育がスタートします。

◆小中一貫教育の教育目標

◆義務教育9年間を修了するのにふさわしい学力の定着：市が作成した標準カリキュラムを活用し、小・中学校教職員が義務教育9年間の系統性や継続性を意識した授業づくりに取り組む。また、中学校教員による教科の専門性を生かした授業を小学校で実施

◆豊かな人間性や社会性の育成：同じ中学校区の小学生同士、小・中学生、地域の皆さんとの学習や交流を計画的・発展的に行う

◆小・中学校教職員の協働による9年間を見通した一貫性のある指導：小・中学校教職員が学習面や生徒指導面で互いに学び合い、同じ目標を持って協働して9年間の指導に当たる

◆小中一貫教育の取り組みを紹介

- ①城北中学校区(文化祭参加)：城北中学校の文化祭で校区4小学校(明倫・吉原・余内・福井小)の6年生が合同で合唱を披露
- ②加佐中学校区(乗り入れ授業)：加佐中学校区の2小学校(由良川・岡田小)の5・6年生の音楽の授業に、中学校教員が訪問し担任と授業を実施
- ③青葉中学校区(部活動体験)：青葉中学校区の4小学校(三笠・倉梯第二・与保呂小)の6年生が、中学生と一緒に部活動を体験

補助金

子育て世帯の暮らしやすい家づくり 二世帯同居・近居に補助



市では、子育てしやすい住まいの環境づくりを進めるため、子育てや三世帯同居・近居のためのリフォームをする場合などに補助金を支給する制度を創設。

詳しくは、次のとおり(近居とは直線距離2キロ以内のこと)。

◆募集期間
4月2日(月)～11月30日(金) (予算額に達し次第終了)

◆対象者
市内に住民票があるか、市内に転居予定で、次の全てに該当する人。
◆子どもが3人以上いるか三

世帯同居・近居する世帯の構成員

◆申請者および世帯構成員に市税などの滞納がない

◆子どもの親権者の年収の合算額が750万円未満

◆リフォーム経費を申請する場合が工事市内に本社(本店)があるリフォーム業者に依頼する

◆対象者自身が居住する住宅の工事で、子育てのためか三世帯同居・近居のために必要で費用が10万円以上かかり交付申請年度の3月1

日までに完了する工事：工事費用の2分の1(限度額100万円)

◆対象者が子育てのためか三世帯同居・近居のために必要な住宅を購入：仲介手数料の2分の1(限度額40万円)

対象工事の例

- ◆子ども部屋を増やすために間取りを変更する工事
- ◆子どもが使いやすいトイレを和式から洋式に改修する工事
- ◆子ども部屋の内装をきれいにする工事
- ◆家事の負担を短縮し、子どもと接する時間を増やすためのシステムキッチン改修工事
- ◆祖父母世帯と同居するための風呂・トイレなどの増設工事
- ◆近居する祖父母世帯が訪れやすくする駐車場増設工事など



港湾

8年連続で1,000万ト超 コンテナ取扱量が過去最高に

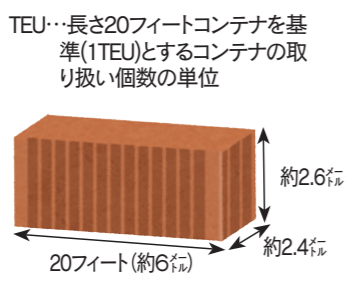


◆取扱貨物量(京都府発表)

平成29年1～12月の京都舞鶴港の取扱貨物量は、全体で1,161万ト。8年連続で1,000万トを超えました。また、コンテナ取扱量は1万3,402TEUで、昨年を引き続き過去最高を更新しました。※数値は速報値のため、変動する場合があります。

◆輸出入総額(大阪税関舞鶴支署発表)

輸入額は9億62億円で、過去最高額を記録。一般機械が大きな



伸びを見せ、石炭・コークス・練炭なども増加しました。輸出総額は341億円。自動車や原動機などが増加した一方、船舶類や非鉄金属などは減少しました。
▼詳しくは、みなと振興・国際交流課 ☎66・1037へ。

市ホームページ バナー広告 掲載希望者を募集

【対象】市内に店舗や工場、事業所などを有する法人や個人事業者など
【掲載料】月額1枠5,000円
【募集件数】先着18枠
【申し込み方法】所定の用紙(市ホームページダウンロード可)に税務課が発行している市税の納税証明書(市税について滞納のない証明)と広告の画像データを添えて広報広聴課へ。
▶詳しくは、広報広聴課 ☎66・1041へ。

国際交流

浦項市青少年交流訪問団が来訪 かまぼこ作りや日本の遊びで交流深める

府北部5市2町と交流を続けている韓国・浦項市の中学生26人が2月23日に来訪。白糸中学校を訪問し、同校の生徒と交流したほか、舞鶴かまぼこ工房で特産品の舞鶴かまぼこ作りを体験しました。



白糸中学校では、福笑いや折り紙など日本の遊びを楽しんだり、ジェスチャーゲームや百人一首などで交流。言葉の壁を越えて、お互いに理解を深めました。その後、訪問団は舞鶴市役所を訪れ、多々見市長を表敬訪問したほか、ホームステイ先のホストファミリーと対面。ホームステイでは夕食を食べながら談笑する中で次第に打ち解け合い、翌日には市内見学や買い物など楽しいひと時を過ごしました。
浦項市とは、平成24年8月に府北部5市2町が発表した「日韓地域間交流推進のための宣言」の取り組みの一環として中学生同士の交流を相互に続けています。
《みなと振興・国際交流課》

から学校生活について説明を受けました。
▼詳しくは、教育企画課 ☎66・1034へ。